



きまりごと

飼い主の責務として「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「家庭動物等の飼養及び保管に関する基準」で下記のことが定められています。

猫の健康と安全の保持

飼い主は猫の健康を守るために、日頃からの健康管理に心がけ、もし病気やけがをした時にはすみやかに動物病院に連れていきましょう。また、猫の安全のために室内飼育に努めましょう。

人に迷惑をかけない

猫は、人に迷惑をかけないように責任を持って飼わなくてはなりません。特に、屋外へ出てしまった猫は、他人の敷地で糞・尿をしたり庭を荒らしたりすることで大変な迷惑となります。

所有者の明示

万が一、飼育場所を離れてしまった猫も、飼い主の名前や連絡先の書かれた名札がついていればすぐに飼い主のところへ戻ることができます。飼い猫には名札をつけておきましょう。



名前と連絡先を書いておこう

繁殖制限

適正に管理できる頭数には限度があります。数をコントロールするために、飼い主は去勢・不妊手術などの繁殖制限をするように努めなければなりません。

猫の健康のために 気をつけたいこと

猫と長く幸せに暮らす為には、日頃からの健康管理が重要です。毎日のスキンシップの中で猫の健康状態を確認する習慣をつけましょう。



言葉で伝えられないから、飼い主が頼りなんだ。

ブラッシング

ブラッシングは毛を清潔に美しく保つだけでなく、スキンシップをはかたり、全身の健康状態をチェックすることができます。猫の皮膚の状態に注意しながら、こまめに手入れをしましょう。

全身をくまなく触ろう

口をあけさせて見たり、足先、耳、尾などもさりげなく触って健康状態を確認します。触られることに慣れさせておくことで治療を受ける時などにもスムーズです。

猫が食べる草

猫は、毛玉を吐き戻したり、胸焼けを治すために草を食べることがありますが、観葉植物の中には中毒を起こすものが多く危険です。ペットショップなどで売っている猫草などを置くといいでしょう。



いつもとちょっとでも様子が違ったら、りつけの動物病院に相談してね。

混合ワクチンの接種

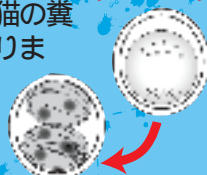
感染の危険と、致死率の高い代表的な病気を予防します。

猫ウイルス性鼻気管炎、猫カリシウイルス感染症、猫白血病ウイルス感染症、猫汎白血球減少症など。

トキソプラズマってどんな病気？

トキソプラズマは寄生虫で、感染している猫の糞に卵が含まれ、糞を放置すると感染型になります。人が妊娠中に初感染すると流産などの可能性があります。猫の糞はすみやかに処分しましょう。また、猫に触った後は手を洗い、食器の共有や口移しをしないようにしましょう。

オーシスト
(新鮮便中)



孢子形成オーシスト
(放置便中の感染型)

猫との暮らしのしおり

楽しい



猫は安全な室内で飼いましょう

バックは嫌い

猫は後ろに下がるのを嫌いますが好奇心が旺盛なので紙袋や筒状のものにすぐに頭を突っ込んでしまいます。あわてて出ようとしても前に進むばかりで、思わぬ事故にもつながりかねません。猫をひとりにする時は、そのようなものを置きっぱなしにしないようにしましょう。

立体的なスペースがあれば楽しく過ごせるよ。



ケージを用意しよう

部屋で放し飼いにしている猫でも、移動の時や猫が苦手なお客さんが来た時にはケージに入ってもらわなくてははいけません。また猫が病気の時などは、猫が安心して静養できるスペースが必要です。猫が中で落ち着けるようなケージを用意して日頃からなれさせておきましょう。



猫のトイレ

トイレは、比較的簡単に覚えます。初めは、おしっこをしたくてそわそわしはじめたら、トイレに連れて行ったり、尿の臭いのついた新聞紙やタオルを置いたりして場所を覚えさせましょう。トレー型のもの、覆い付きのものなど様々なタイプが市販されていますので、猫の好みに合わせて工夫しましょう。

汚いトイレは嫌い!! いつもきれいにしておいてね。



屋外は危険がいっぱい

- 闘争によるケガ
- 繁殖に関するトラブル
- 病気の感染 (伝染病・ノミ・ダニ)
- 交通事故



重要!!

猫の伝染病には有効な治療方法がない病気 (猫白血病ウイルス感染症 [FeLV]、猫免疫不全ウイルス感染症 [FIV]) や、ワクチンがない病気 (猫伝染性腹膜炎、猫免疫不全ウイルス感染症) があります。中にはなめあうだけでも感染するものがあるため、感染源と接触する危険のある屋外へは出さないことが重要です。



トラブルを予防しよう!

猫を飼育することで、ご近所とトラブルを起こしてしまったり、猫との楽しい暮らしも残念ながら満点とはいえません。代表的な例を知って、トラブルを予防しましょう。

糞

猫の糞は臭いが強く、他人には耐えがたいものです。また、猫は糞の上に土や砂をかけてかくす習性がありますので「気付かず触ってしまった(踏んでしまった)」ということがよくあります。



尿

特に去勢していない雄猫のマーキング(尿スプレー)は独特の強い臭気があり、洗い流してもなかなか消えません。

出産

猫は出産場所として、高いところに入り口があって暗く狭い空間を好みます。このため、屋根裏で生まれた子猫が壁の隙間へ落ち込んで鳴いている、などというトラブルもまれではありません。



鳴き声

発情期になると、雌猫は人間の赤ちゃんのような大声で鳴きます。また、雌をめぐっての雄同士が闘争する声も耳につきま。

その他

猫にそのつもりがなくても、植木鉢の上でジャンプをすると、鉢はひっくり返ってしまいます。また、自動車の上を歩くとき足跡がつかます。中には猫が怖いから、屋根の上や庭先で寝そべっているのもイヤという人もいます。猫の自然な行動が、人の社会ではトラブルとなってしまうことがあるのです。



猫が好きな人ばかりじゃありませんよニャン



これらのトラブルは室内飼育と繁殖制限手術で完全になくすることができます。

豆知識

猫が妊娠しやすいワケ

猫が他の動物に比べて妊娠しやすいのは、交尾の刺激によって排卵が起こり、タイミングよく受精が成立するためです。同じような特徴をもつペットとしてはウサギ、フェレットなどがあります。

猫のしつけ

猫は群れ社会の動物ではないので、犬のような、リーダーに従う習性を利用したしつけはできませんが、「を」と悪いことがある(＝天罰方式) 例えば、触ってほしくないところに、ガムテープの粘着面を表面に貼っておくなど。」という方法ならば覚えさせることができます。

お部屋だけじゃつまらない?

猫は上下の空間の広がりや適当なおもちゃさえあれば退屈しない動物なので「つまらないんじゃない?」という心配は無用です。安全な室内で飼いが遊んであげること、コミュニケーションをはかりながら楽しく長生きすることができます。

食事のマナー

猫は食事のマナーがあまりよくありません。口と舌の構造上、皿の周りに餌を飛び散らせてしまいます。不衛生にならないように、後片付けは飼い主がフォローする必要があります。